

10 月 17 日：VN 指数は引け間際に下落 (VN-Index -1.73%)

- 昨日の下落の流れを引き継ぎ、VN 指数は取引開始直後から振るわない動きとなっていた。
- その後は金融サービスと素材セクターに買いが集まったことで、わずかに指数が反発する場面も見られた。
- 午後に入ると再び売りが優勢となった。売りが幅広い銘柄に広がっていき、投資家はパニック売りを引き起こした。
- 最終的に指数は大きく下落したまま取引を終えた。
- 107 銘柄が上昇、378 銘柄が下落、変わらずは 70 銘柄と幅広い銘柄が売られていた。
- 流動性は再び低下し、売買代金は 13.6 兆ドンだった。

VN30 指数は下げを主導 (VN30 -1.06%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 4 銘柄が上昇、25 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。
- VRE (+1.12%) は唯一の 1%を超える上昇となった。
- 一方、GVR (-5.83%)、MWG (-4.73%)、FPT (-3.82%) は 3%を超える下落となった。

セクター・個別株の動き

- FPT (-3.82%) は年初来 9 か月の業績が好調だったが引け間際に全体相場と同じく売られた。売上が前年同期比で 22.4%増の 37.9 兆ドン、税引き前利益が同 19.5%増の 6.76 兆ドンとなった
- POM (+1.15%) は戦略的投資家への私募の承認を受けた。日本のナンセイスタイルに 1060 万株を発行する予定となっている。

- 外国人投資家は 188 億ドルの買い越しとなった。STB (-0.66%) は 1420 億ドルの大幅買い越しとなっていた。一方、VHM と VPB は売り越されていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。